

2024年10月17日

株式会社スーパーホテル

報道関係者各位

使用済み紙コップを紙コップのスリーブ及び段ボールに再利用する マテリアルリサイクル活動を関西一部店舗から開始

～王子ホールディングス株式会社とグループ会社の旭洋株式会社と共同でマテリアルリサイクルを推進～

「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに、地球にも人にも優しいホテルの運営を手掛ける株式会社スーパーホテル(代表取締役社長：山本 健策、本社：大阪府大阪市)は、2024年10月31日より、王子ホールディングス株式会社(代表取締役社長 磯野 裕之、本社：東京都中央区)とグループ会社の旭洋株式会社(代表取締役社長 岡 良平、本社：東京都中央区)と共同で、使用済み紙コップを紙コップのスリーブ及び段ボールに再利用するマテリアルリサイクル活動を関西一部店舗から始めます。

近年、サーキュラーエコノミー *1) 実現への意向が高まっており、特に使用済み製品を再び原材料として利用する持続的なマテリアルリサイクルの重要性が増しています。

全国に172店舗を持つスーパーホテルでは全店舗で年間約1,350万個の紙コップが使用されています。一般的に紙コップは耐水性を持たせるためにプラスチックラミネート加工が施されており、古紙回収に出せない禁忌品扱いとして焼却処分されており、再利用技術による有効活用が望まれていました。

王子ホールディングスは2023年3月に使用済み紙コップを粉砕、洗浄し、さらに紙とラミネートフィルムを分離して、繊維分(パルプ)を効率的に回収するシステムを確立し、これにより使用済み紙コップのマテリアルリサイクルが可能となりました。このためスーパーホテル堺マリティマ店舗において2023年10月1日から2023年11月30日の2ヶ月間に排出された使用済み紙コップでリサイクルテストを行ったところ、紙コップのスリーブおよび段ボールの製品原料として問題ないことが確認され、本取組みの正式導入に至りました。

今回スーパーホテルで使用された紙コップを分別・回収し、紙コップの繊維分(パルプ)を王子グループ工場が再資源化することで、使用済み紙コップを紙コップのスリーブおよび段ボールとして再生し、スーパーホテルで使用する取り組みを開始します。



スーパーホテルは引き続き資源の循環利用と脱プラスチックに向けた取り組みを進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*1) サーキュラーエコノミー（循環経済）とは、大量生産・大量消費・大量廃棄が一方向に進むリニアエコノミー（線形経済）に代わって、近年ヨーロッパを中心に提唱されている新しい経済のしくみです。あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、付加価値の最大化を目指す社会経済システムを意味します。

【株式会社スーパーホテルについて】

「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに、健康でサステナブルなライフスタイルを提案するホテルとして国内 172 店舗、海外 1 店舗（ミャンマー）を運営（2024 年 9 月 24 日時点）。IT の活用による生産性向上と、高品質な接客・サービスによる顧客満足度の向上を両立させ、2023 年度には「J.D. パワー“ホテル宿泊客満足度 9 年連続 No.1 <エコノミーホテル部門>”」と「JCSI（日本版顧客満足度指数）調査 顧客満足度"№.1"」をダブル受賞。また環境保全の取り組みを行っている業界をリードする環境先進企業を環境大臣が認定する「エコ・ファースト制度」では、ホテル業界で唯一認定を受けています。環境保全活動以外にも地域活性化や次世代支援などの SDGs 推進活動に積極的に取り組んでいます。

公式サイト：<https://www.superhotel.co.jp/>

SDGs の取り組み：<https://www.superhotel.co.jp/sdgs/>

※「エコ・ファースト制度」について：<https://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/>

【お問い合わせ先】

株式会社スーパーホテル

本社：〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町 1-7-7

TEL：06-6543-9000 / Email：pr@superhotel.co.jp